

(ポスト・アポロ計画への参加問題について情報の交換のための日本国政府と欧州宇宙会議との間の協力に関する交換書簡)

(日本側書簡)

書簡をもって啓上いたします。日本国政府及び欧州宇宙会議は、それぞれ、ポスト・アポロ計画への参加に関して、アメリカ合衆国航空宇宙局（航空宇宙局）との間で従来合会を開催してきていた。また、今後も開催することになるものと予想されます。

本官は、本国政府の訓令に基づき、ポスト・アポロ計画への参加に関する情報の公式の交換を実現するため、日本国政府（科学技術庁を実施機関とする。）と欧州宇宙会議との間で次の枠組において協力することを提案する光榮を有します。

(1) 各当事者は、相互主義に基づき、他方の当事者によって任命された者と、ポスト・アポロ計画に関して、航空宇宙局との間で開催する行政面又は技術面における公式の会合にオブザーバーとして、招請する。いづれかの当事者のオブザーバーの出席にあたっては、他方の当事者の事前の承認が必要とされる。

(2) 各当事者は、他方の当事者に対し、(1)の会合（過去の会合を含む。）の記録その他の関係資料を提供する。ただし、当該当事者にとって、そのような資料を他方の当事者に提供することに支障がある場合は、この限りでない。

(3) この取り決めに基づいて提供されるいかなる情報も受領当事者が、他方の当事者の同意を得ないで公表してはならない。

(4) 各当事者は、予定された会合及びその会合の期日、場所、議事日程、参加者、その他の情報を事前に十分の余裕をもって他方の当事者に通報するものとし、また、当該他方の当事者のオブザーバーの出席を認めることができるかどうかを表明する。当該他方の当事者は、オブ

ザーバーの出席を認められる場合には、オプザーバーを出席させることを希望するかどうか、及び希望する場合  
には、出席予定のオプザーバーの氏名をすみやかに回答する。  
本庁は、貴庁が、欧州宇宙会議が前記のことに同意することを欧州宇宙会議に代わって確認されれば幸いです。

本庁は、以上を申し上げるに際し、ここに貴庁に向かつて敬意を表します。

1972年3月 日パリで

在パリ日本国大使館  
公使 徳久 敏

欧州宇宙会議事務局長  
ホッカー 殿

(欧州平商会議側書簡)

(訳文)

書簡をもって申し上げます。本官は、本日付けの貴官の次の書簡を受領したことを確認する光栄を有しています。

“(日本側書簡)”

本官は、回答として、欧州平商会議が前記のことに同意することを欧州平商会議に代わって確認する光栄を有しています。

本官は、以上を申し進めるに際し、ここに貴官に向かって敬意を表します。

1972年3月 日付パリで

欧州平商会議事務局長  
ホッカー

在フランス日本国大使館  
公使 徳久 繁麿